

科 目 名	プレゼминаール III	備 考
単 位 数	2 単位	

大 久 保 博 樹

パソコンでラジオ番組を制作 - 「音」を使った情報発信を Podcast 形式で学ぶ

1. 講義目標

Internet 版ラジオともいえる Podcast をパソコン(Mac)を活用して制作する行程を通じて、音による表現とその最適化について学ぶことを目標とする。広く人々に受け入れられる音声コンテンツとは何か、並びに新しい情報発信メディアやコミュニケーション・ツールとしての可能性や課題について、実践的に考察する。

2. 到達目標

音による情報発信に求められる方法と表現ならびに伝達について、聞き手に届く話し方、効果音や音楽の有用性を説明することができることを目標とする。ディプロマ・ポリシーの(メディア情報)「1. 情報の生産・流通・蓄積・再利用を実践する能力を身に付けること」に関連し、ディプロマ・ポリシー (全学部) の「2. 学部教育全体を通じて、十分に駿大社会人基礎力を身につけること」にも関連し、駿大社会人基礎力の考える力や総合的な力を養うものである。

3. 関連科目

音楽情報処理演習、音響メディア論、音響制作実習

4. テキスト・参考書等

必要に応じて、レジュメや資料を配付する。

- 【参】 竹内敏晴 『声が生まれる—聞く力・話す力』 中央公論新社
- 【参】 種田守倅 『聴かせてやんない!—ウェブラジオ FMC インサイドストーリー』 くまざさ出版社
- 【参】 J・D. ヘリントン 『Podcasting Hacks—構成、録音、発信の必須テクニック』 オライリージャパン
- 【参】 岡田芳郎 『メディアの河を渡るあなたへ 小谷正一物語』 ボイジャー
- 【参】 大津真, 田廻弘志 『はじめよう! Logic Pro X すぐに使えるポイント 111』 ラトルズ

5. 授業外における学習方法

Podcast やラジオ番組の視聴機会を毎週ごとにもうけ、授業で指摘した事項を確認する (2.0 時間)。指定したテキストや資料の該当箇所を事前に読んで要点をまとめ、分からない用語等も調べておく (1.5 時間)。読みきかせや語りかけのトレーニングをグループで行うこと (1.0 時間)。

6. 成績評価方法

グループ制作活動への貢献度(30%)、制作した成果物の内容と完成度(50%)、ゼミへの取り組み(20%)によって総合的に評価する。(ゼミへの取り組みでは、主に視聴課題を課します。その内容に対するリアクションペーパー等を配付し、授業内で課題の意図や模範例を説明します。)

授 業 計 画			
第 1 回	ガイダンス	第 9 回	制作演習 (1) 読み聞かせ
第 2 回	ラジオ番組の世界	第 10 回	制作演習 (2) 収録
第 3 回	Podcast 形式とは何か(構成分析)	第 11 回	制作演習 (3) 編集
第 4 回	音による情報発信に向けたテーマとは	第 12 回	制作演習 (4) 再収録と修正
第 5 回	音声コンテンツの制作環境と理解	第 13 回	制作演習 (5) 仕上げと共有
第 6 回	企画の立て方について	第 14 回	発表と講評
第 7 回	番組の構成台本の作成方法	第 15 回	まとめ
第 8 回	伝わる話し方を学ぶ		